

## I 実施の状況

### 1. 調査の目的

- (1) 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

### 2. 実施校及び実施学年

抽出対象校 小学校4校、中学校3校  
 小学校第6学年、中学校第3学年

### 3. 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査

- 国語A、算数・数学A 主として「知識」に関する問題
- 国語B、算数・数学B 主として「活用」に関する問題

#### (2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

### 4. 実施期日

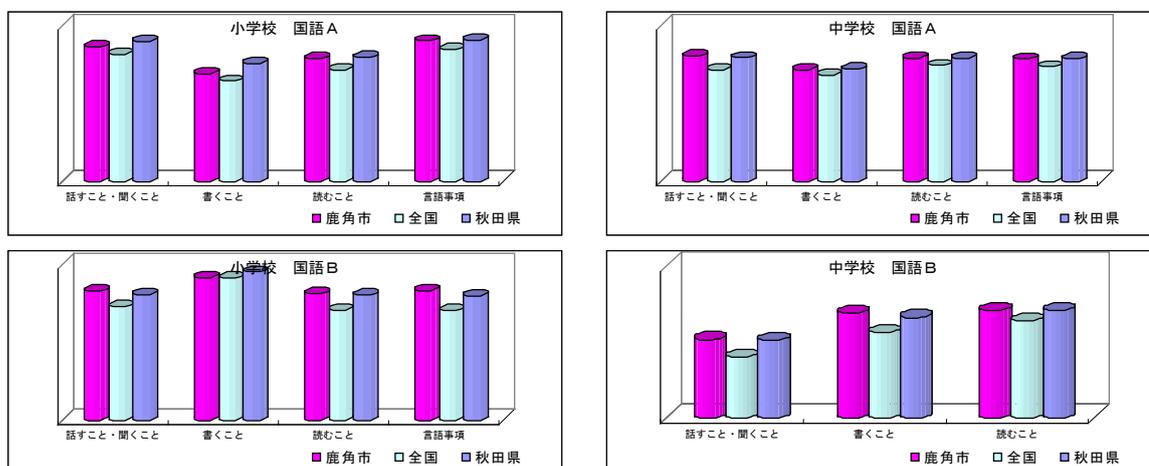
平成22年4月20日（火）

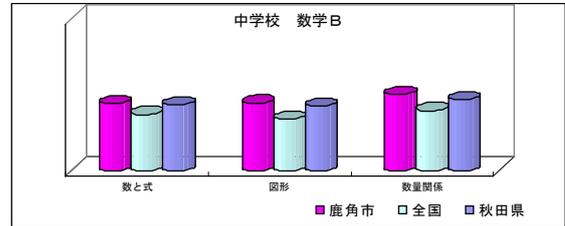
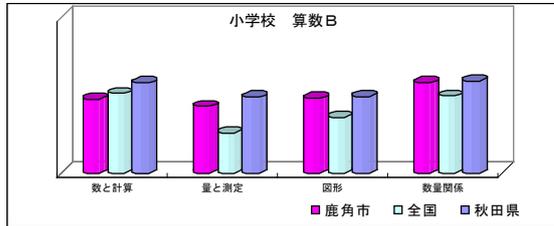
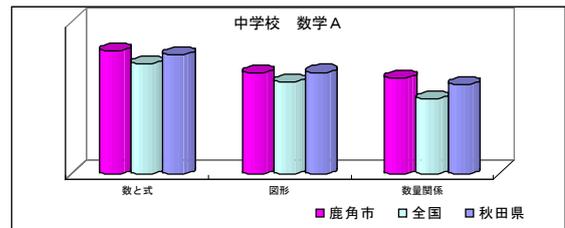
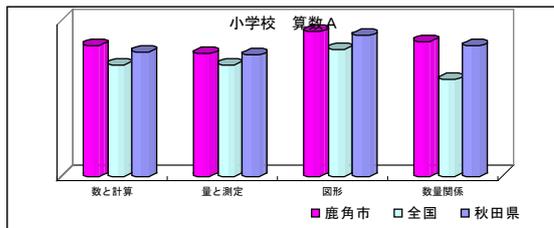
## II 結果の概要

### 1. 概況

- ・ 小・中学校とも全国平均正答率と比較した場合は良好である。秋田県平均正答率と比較した場合、小学校国語A、小学校算数B、中学校国語A、Bで0.1～0.8ポイント下回るが、昨年度よりも差が縮まっている。
- ・ 領域別平均正答率では、秋田県平均正答率と比べると、小学校では国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」、国語Bの「書くこと」、算数Bの「数と計算」「量と測定」の各領域で下回っており、算数Bの「数と計算」の領域では全国平均正答率よりも若干下回った。  
 中学校では国語、算数の全領域で秋田県平均正答率と同程度であり、国語Bの「書くこと」、数学A「数と式」「数量関係」、数学B「数量関係」の各領域で2～4ポイント上回っている。
- ・ 今年度は、小学校での全問正答者が国語A、Bで31.4%、算数Aで29.7%と昨年度と比べて大きく上回る結果となっている。一方中学校での全問正答者は国語Aで1.1%、国語Bで9%、数学Aで3.4%、数学Bで0%と昨年度を下回った。

### 2. 領域別平均正答率の結果（全国平均正答率との比較）





### 3. 小問別平均正答率の結果

	教 科	設問数	全国平均正答率との比較
小学校	国語A	15	15の設問で全国より上回る。(7の設問で全国5ポイント以上)
	国語B	10	9の設問で全国より上回る。(8の設問で全国5ポイント以上)
	算数A	19	19の設問で全国より上回る。(15の設問で全国5ポイント以上)
	算数B	12	10の設問で全国より上回る。(7の設問で全国5ポイント以上)
中学校	国語A	35	31の設問で全国より上回る。(16の設問で全国5ポイント以上)
	国語B	10	9の設問で全国より上回る。(7の設問で全国5ポイント以上)
	数学A	36	34の設問で全国より上回る。(22の設問で全国5ポイント以上)
	数学B	14	13の設問で全国より上回る。(9の設問で全国5ポイント以上)

### 4. 各教科の状況

【○…良好な内容(正答率90%以上) ▲…課題となる内容(正答率40%未満)

△…課題となる内容(秋田県平均正答率比-5%以上、または全国正答率を下回る)】

#### <小学校・国語A>

- 学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む(慣れる、目次、清潔)
- 説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する。
- 二つの言葉を組み合わせて、一つの言葉にして書く。(走る + 続ける → )
- 一つの言葉を二つの言葉に分けて書く。(結び付ける →)
- △メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な言葉を選択する。

#### <小学校・国語B>

- 学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く
- 物語を読んで、思ったことや考えたことと、その理由を書く。
- △学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く。
- △三つの時計の中から条件にあったものを選び、それを選んだ理由を書く。

#### <小学校・算数A>

- 繰り下がりのある減法の計算をすることができる
- 整数の除法の計算をすることができる
- 商が小数になる除法の計算をすることができる
- 加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。
- 立方体を展開図から構成できる。
- 二等辺三角形の定義や性質を理解している。

#### <小学校・算数B>

- △示された式を解釈し、えんぴつ1本の定価が整数になるおつりの金額を判断できる。

- ▲平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に長方形の大きさを考え、それを記述できる。
- △示された3つの円グラフから目的に合うものを選び、必要な情報を読み取ることができる。
- △二次元表の中の数表す事柄を2つの項目と単位に着目して読み取り、その内容を記述できる。
- △二次元表に示された数の意味を考え、円グラフと関連付けることができる。
- △平行四辺形に対してなされた説明を解釈し、それを台形に適用して、説明を記述できる。
- ▲示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その判断の理由を記述できる。

#### <中学校・国語A>

- 百人一首の上の句に続く下の句を選択する。
- 修飾語にあわせて述語の部分の適切に書き直す。
- 案内文に必要な項目の名称を書く。(場所)
- 文脈に即して漢字を正しく読む(冒頭、衝撃、導く)
- 同音異義語から適切なものを選択する。(過程)
- 単語の類別や働きについて理解し、同じような意味を表すように書き換える。
- 部首の説明として適切なものを選択する。(りっしんべん、うかんむり)
- △案内文に必要な項目の名称を書く。(日時)
- △文脈に即して漢字を正しく書く。(スガタ)
- △適切な敬語を選択する。(父が～申して)
- △適切な語句を選択する。(性分)

#### <中学校・国語B>

- 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する。(やりきれない、相応に)
- △トップ記事とコラムとを比較し、書き方の特徴として適切なものを選択する。

#### <中学校・数学A>

- 文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことができる。
- 文字に数を代入して式の値を求めることができる。
- 垂線の作図の手順を理解している。
- 命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を指摘できる。
- 比例の関係を表す表の特徴をとらえて、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる。
- △円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めることができる。
- △三角形の外角とそれととなり合わない2つの内角の和の関係を理解している。
- ▲具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことができる。

#### <中学校・数学B>

- ▲必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現して処理することができる。
- ▲問題解決のための構想を立て実践し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる。
- ▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- ▲事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる。

### III 今後の方策(各校の具体的な取組)

#### 【小学校・国語】

- ・話し合いの場を意図的に設け、説明したり、発表したりする機会を多く持ち、説明の仕方を身につける。
- ・自分の考えをみんなの前で話すことに苦手意識を感じないように、小グループでの意見交換や考えを比較検討する活動を取り入れる。
- ・伝えたいこと、表現したいことなどの目的にあった話し方や提示資料を選択したり、話し手の意図を考えて聞いたりする場を設ける。
- ・立場を明確にした話し合い活動などを多く設け、自分の意見を述べたり友達の考えと比べながら聞いたりできるようにする。
- ・自分の意見や考えを結論と理由をはっきりさせて書く指導を行う。
- ・おたよりや手紙、札状など多様な形態の書き方を指導する。

- ・相手や目的を明確にして、報告文や意見文を書く指導を行う。また、書いた文章について、感想や意見を述べたり、表現の仕方に着目して助言しあったりする。
- ・ノート指導を充実させ、自分の考えを書いたり、要約したりする時間を意図的に設け、時数や時間、個数など条件を付けながら書く活動を行う。
- ・適切な文章表現の仕方を指導し、わかりやすく書くことができるようにする。
- ・構成、語句の使い方、文末表現などに着目して、文章を読む指導を行う。
- ・確かな読み取りのために、考えの根拠となる文や言葉に着目させながら読むことを指導する。
- ・国語辞典の活用を多様な場面で図り、語彙力を身につけさせていく。

### 【小学校・算数】

- ・算数の知識を活用する具体的な生活場面の問題を取り上げる。
- ・解き方について、筋道立てて順序よく説明する指導を行う。
- ・既習事項を生かし、文章問題を作る学習を行う。その問題を解いてみる活動を取り入れ、問題が成立しているかどうかを確認する。
- ・根拠や対象を明らかにして自分の考えを説明させる。
- ・数直線図などを用いて、基準値・比較値・割合の関係を明らかにさせる。
- ・計算の習熟を確実にを行う。
- ・問題を解くために必要のない条件を加えた問題に取り組む。
- ・問題文の意味を捉えやすいように、小数や分数を簡単な整数に置き換えたり、数直線・面積図を使って考えたりする活動を取り入れる。
- ・資料から数学的な考え方を用いて情報を取り出す問題を取り入れる。
- ・評価テスト等で知識・理解が不十分な児童に対する個別の回復指導を徹底する。
- ・応用問題等を活用して、数量・図形に関する考え方を確実にする。
- ・課題解決的な学習を大切にし、自分で考えたことを発表したり話し合ったりする活動を充実させる。
- ・算数的活動を通して、自分の考えの根拠となった理由を明確にして話したり書いたりする。
- ・記述式の問題に多く当たらせ、題意を捉える力を育てる。
- ・自分の思考の流れが分かるようなノートのとり方を工夫させる。
- ・解き方だけでなく、なぜそうなるのかななどの理由を重視した学習を心がける。
- ・自力解決の時間は自分の考えを文章で書かせる。
- ・時間や正確さを意識して計算問題に取り組ませる。
- ・自分の考えを図や表にまとめ、その根拠が述べられるようなノートづくりに取り組む。
- ・考えの根拠をわかりやすく説明できるよう、話型を徹底させる。

### 【小学校・その他】

- ・丁寧な言葉遣いで語尾まではっきり話す指導を行う。
- ・自分の思いや考えなどについて、少人数で話し合い、まとめる経験を積ませる。
- ・作文や短文作りの中で、漢字を正しく使用する機会を増やす。
- ・テーマを設定したスピーチタイムや短作文に継続的に取り組み、聞き手も話し手の意図を意識した感想発表ができるようにする。
- ・朝や放課後など機会を捉えて、補充・回復指導を行い、基礎的な内容の定着を図る。
- ・家庭学習の内容に文章題や応用問題を取り入れる。
- ・家庭学習計画表を活用し、休日の家庭での学習習慣を定着させる。
- ・短作文のテーマや条件設定（時数や時間）を見直す。
- ・読書に親しみ、優れた文章表現や語彙に触れる機会を多く設ける。
- ・読書活動の推進と図書館の活用。

### 【中学校・国語】

- ・漢字の読み書きの他、言語事項に関わる小テストを実施する。
- ・辞書を活用したり、優れた文章を読ませたりして語彙を増やし、それを用いた文章を書かせることでより豊かな表現ができるようにする。
- ・学期に1回は複数の教材文を用いた読みの学習を行う。
- ・「書くこと」で書いた文章を推敲する時間をしっかり確保する。

- ・活用する力を意識した授業を展開し、伝え合う活動を多く取り入れる。
- ・ロールプレイなどの敬語を使う場面を意図的に設定して、使用への抵抗をなくす。
- ・短作文は、一文をできるだけ短く書くことを指導する。
- ・聞き手を意識した話し方を身につけさせるために、授業の中に説明タイムを設ける。
- ・文章の展開に即して内容を捉えるために、設定の確認活動を授業の中に設ける。

### 【中学校・数学】

- ・学習内容の定着を図るため、授業の中で既習事項を利用する場面を増やす。
- ・基礎・基本の確実な定着を目指して、小テストやドリルテストを定期的実施する。
- ・比例・反比例・一次関数を含めての特徴を比べる学習を展開し、関数の見方を定着させる。
- ・「相似な図形」の単元で、論証されたものを読み取り、間違いを指摘する力を身につける。
- ・根拠を明らかにしながら説明する活動を多く取り入れた授業を行う。
- ・機会を捉え、毎月回復指導を行う。
- ・個に応じた指導をするため、1 C 4 Tによる少人数学習、T T指導を全学年で実施する。
- ・秋田県学習状況調査や単元評価問題を授業で活用する。
- ・週末課題等を活用し、図形領域の問題に触れる機会を増やす。
- ・読解力を身につけるため、文章題に触れる機会を増やし、応用問題を扱う時間を設ける。

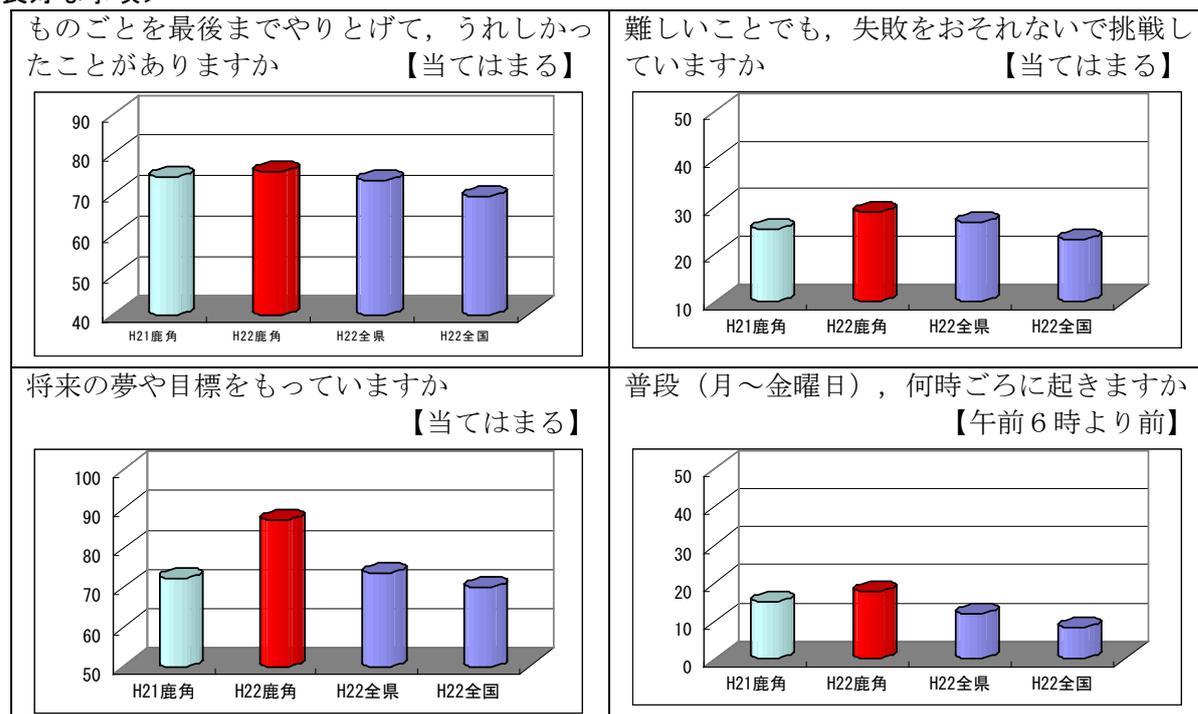
### 【中学校・その他】

- ・授業についてのアンケートを実施し、授業改善を図る。
- ・帰りの会でスピーチに取り組み、さまざまな相手を意識した表現に留意して、情報発信能力を身につける。
- ・「表現の時間」を設定し、図面から想像力豊かに文章を書き起こす活動を通して、表現力の向上に努める。
- ・漢字ノートや数学の課題などを毎日行わせ、学習内容を点検する。
- ・朝や放課後等の機会を捉えて、補充指導を行う。
- ・週末に課題を与え、今週の学習のまとめを家庭で行い、基礎・基本の確実な定着を目指す。
- ・定期テスト前に学習相談の時間を設け、定着が不十分な学習内容の克服を図る。
- ・読解力の向上に向けて朝読書を継続する。

## IV 児童生徒質問紙調査の結果

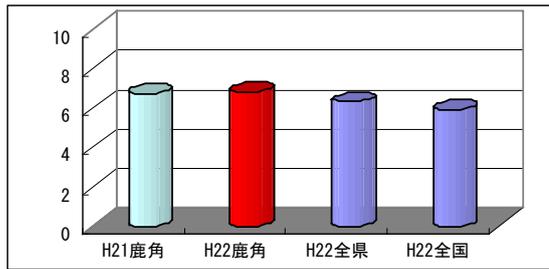
### 1. 小学校

#### <良好な事項>



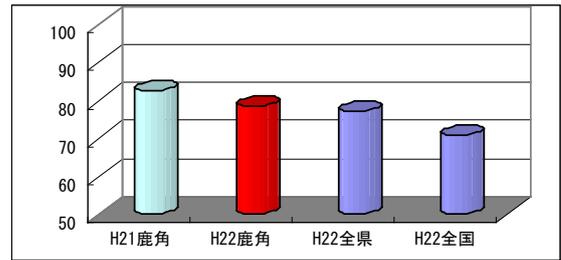
普段(月～金曜日), 何時ごろに寝ますか

【午後9時より前】



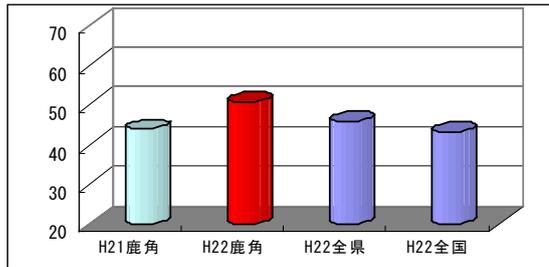
家の人と普段(月～金曜日), 夕食を一緒に食べていますか

【している】



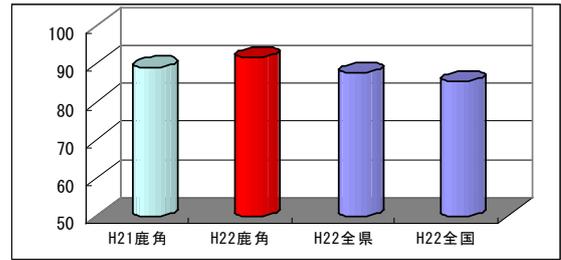
家の人と学校の出来事について話をしていますか

【している】



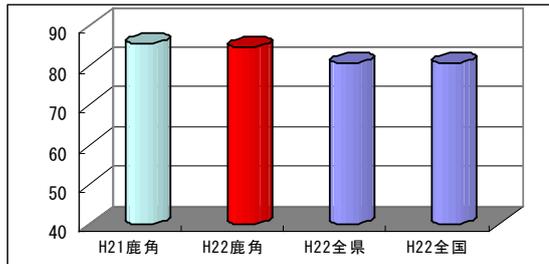
家で学校の宿題をしていますか

【している】



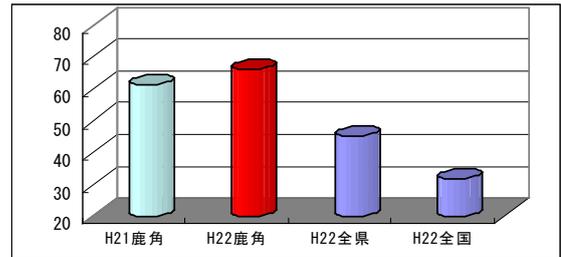
学校で好きな授業はありますか

【当てはまる】



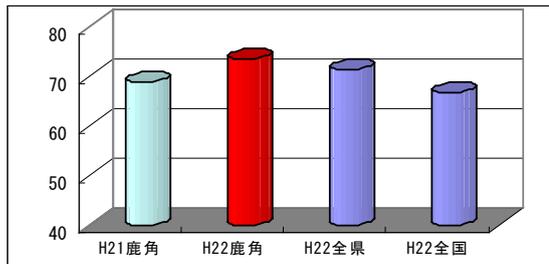
今住んでいる地域の行事に参加していますか

【当てはまる】



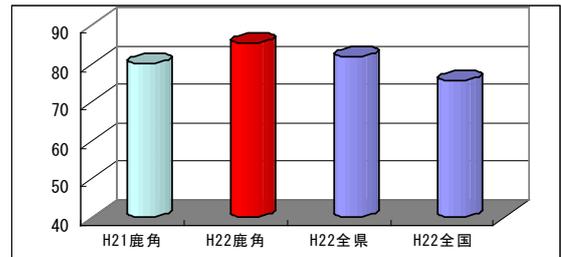
人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

【当てはまる】



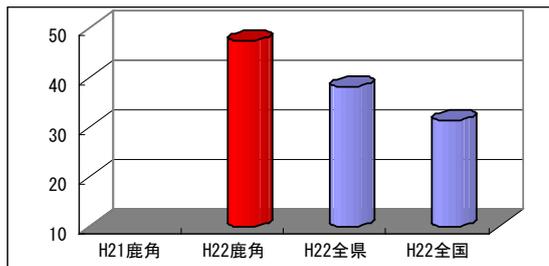
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか

【当てはまる】



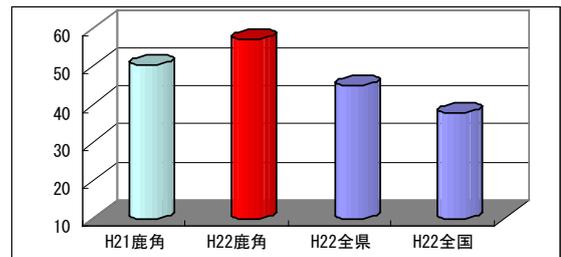
あなたの学級では, 学級の友達同士で話し合  
って学級のきまりなどを決めていると思いま  
すか

【そう思う】

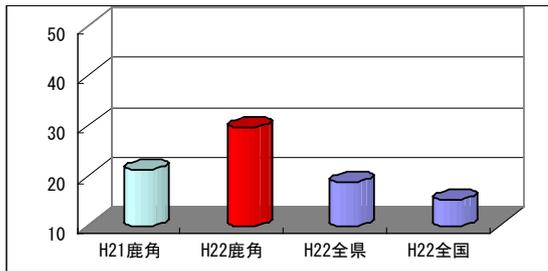


「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか

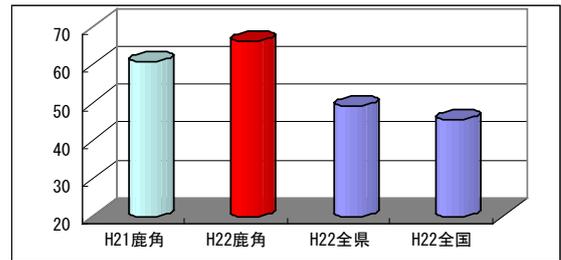
【当てはまる】



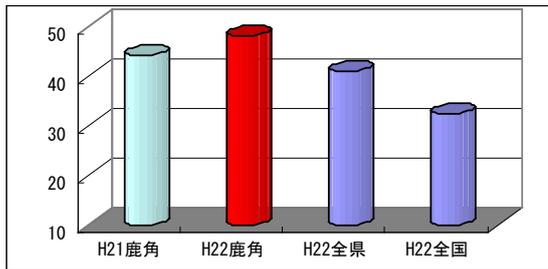
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか 【当てはまる】



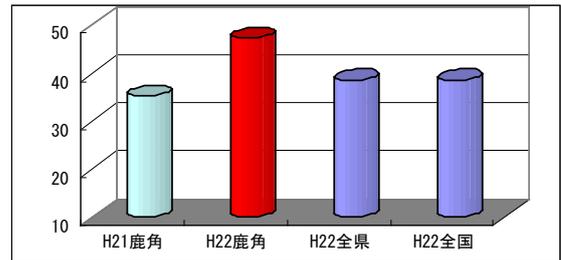
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか 【当てはまる】



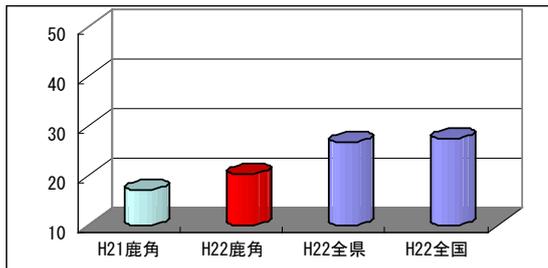
普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか 【当てはまる】



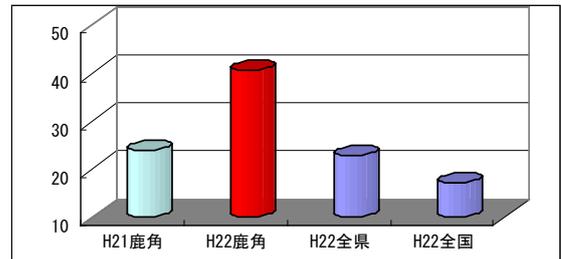
授業では、ノートを丁寧に書いていますか 【当てはまる】



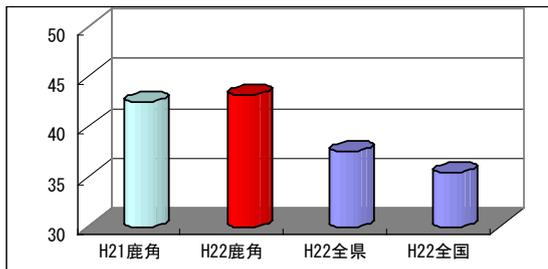
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか 【難しいと思う】



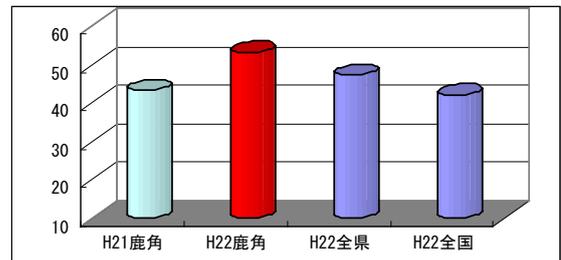
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか 【当てはまる】



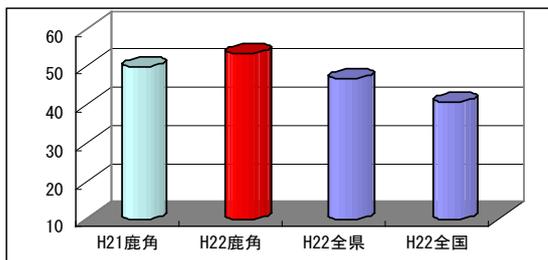
算数の勉強は好きですか 【当てはまる】



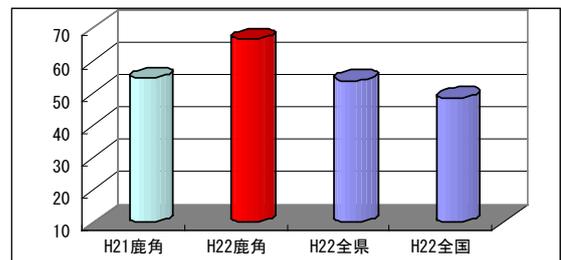
算数の授業の内容はよくわかりますか 【当てはまる】



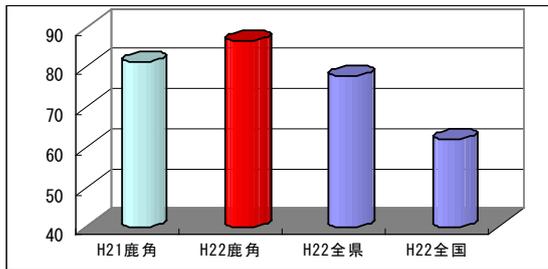
算数の問題の解き方が分からないときは、あらかじめいろいろな方法を考えますか 【当てはまる】



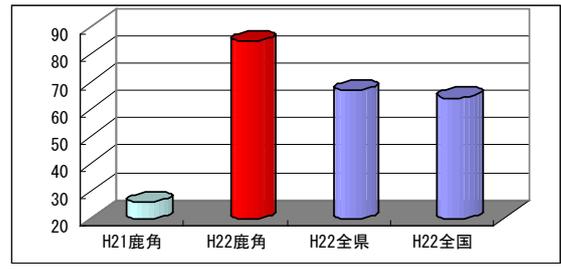
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか 【当てはまる】



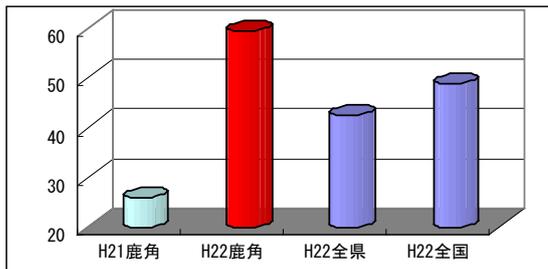
言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか  
【最後まで書こうと努力した】



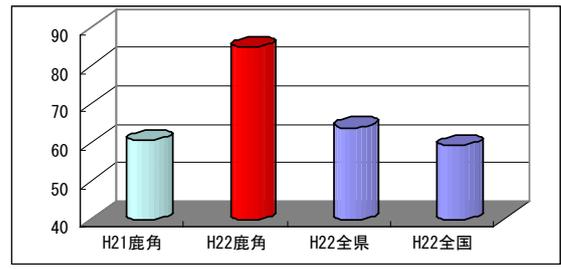
解答時間は十分でしたか (国語A)  
【時間が余った】



解答時間は十分でしたか (国語B)  
【時間が余った】

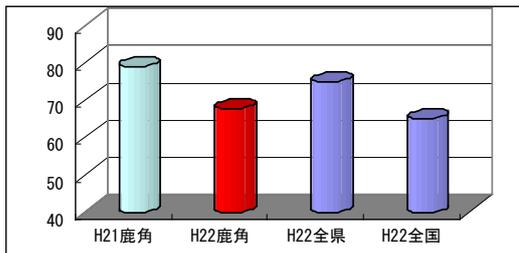


解答時間は十分でしたか (算数A)  
【時間が余った】

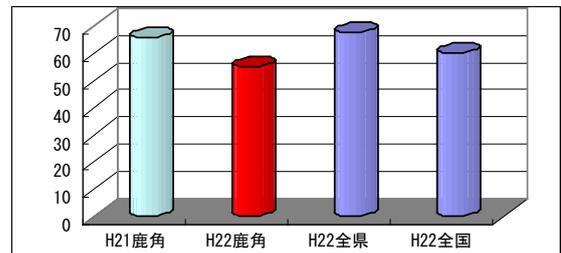


<課題となる事項>

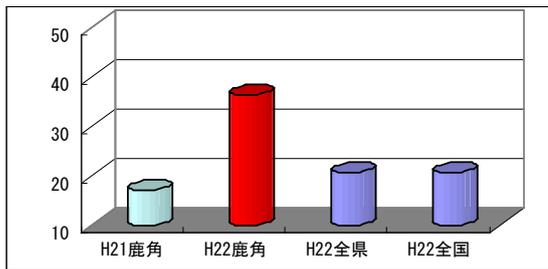
学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか  
【している】



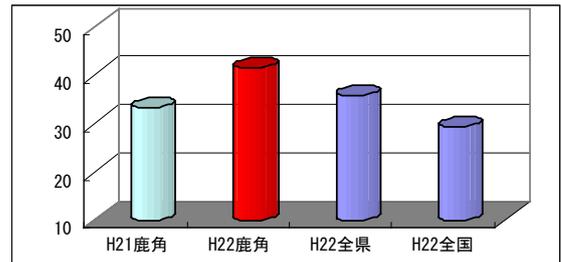
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか  
【している】



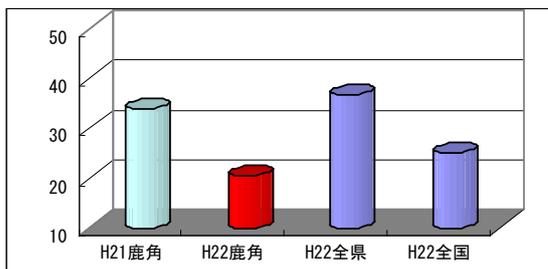
家や図書館で、普段 (月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか  
【全くしない】



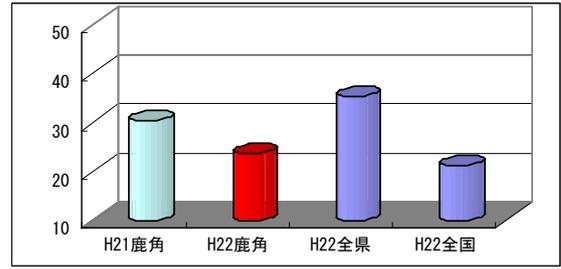
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらいいきます  
【ほとんど、または、全く行かない】



家で自分で計画を立てて勉強していますか  
【している】



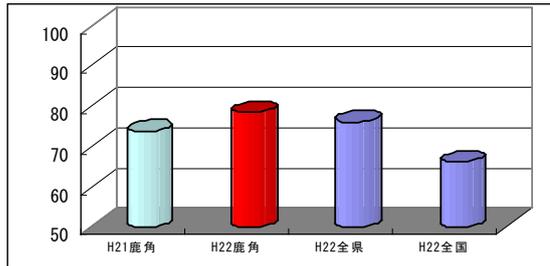
家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか  
【している】



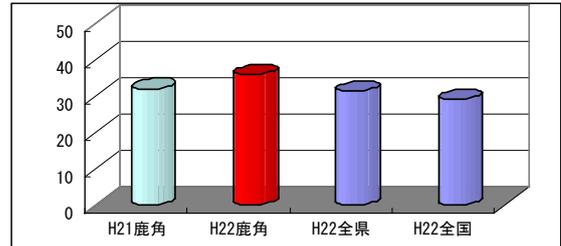
## 2. 中学校

### <良好な事項>

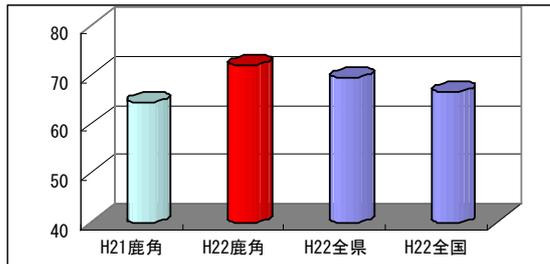
学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか 【している】



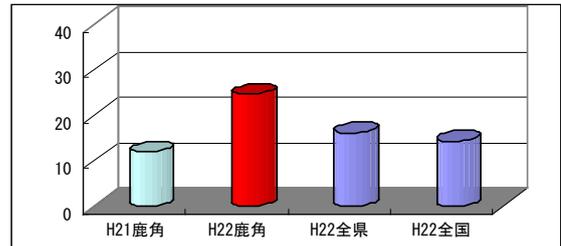
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか 【している】



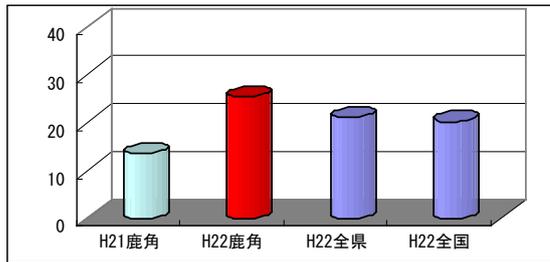
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことはありますか 【当てはまる】



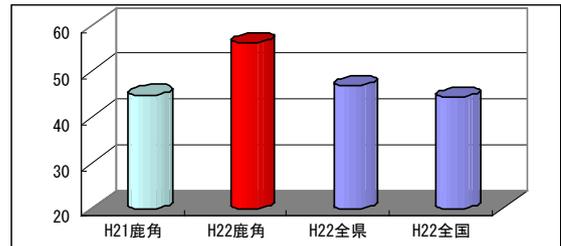
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか 【している】



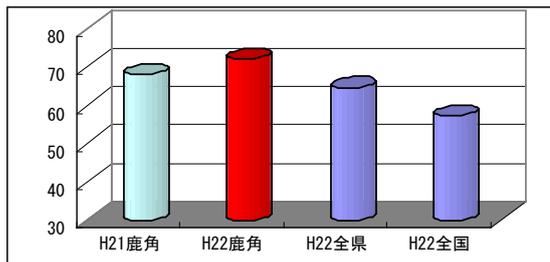
自分には、よいところがあると思いますか 【当てはまる】



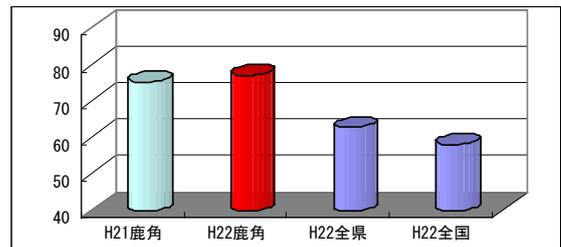
将来の夢や希望をもっていますか 【当てはまる】



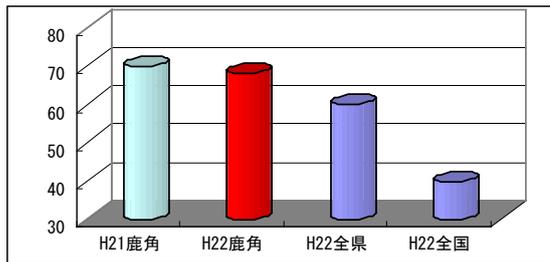
家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか 【している】



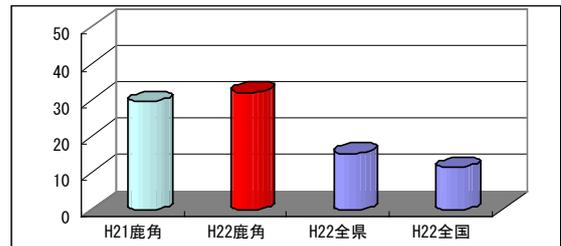
家で学校の宿題をしていますか 【している】



家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか 【している+どちらかといえばしている】

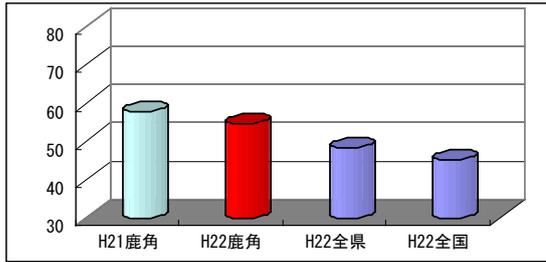


今住んでいる地域の行事に参加していますか 【当てはまる】



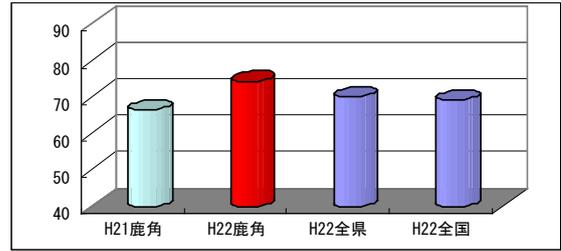
学校の規則を守っていますか

【当てはまる】



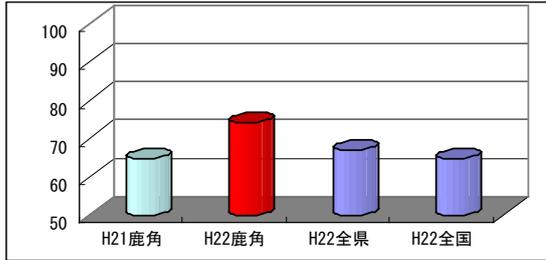
人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか

【当てはまる】



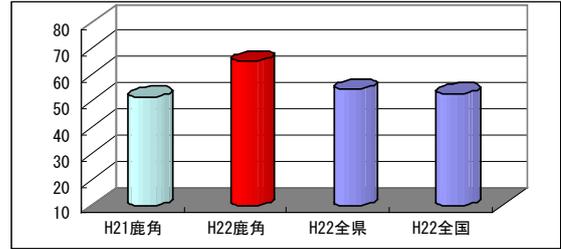
人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【当てはまる】



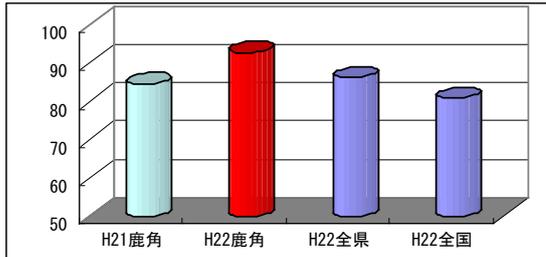
国語の勉強は大切だと思いますか

【当てはまる】



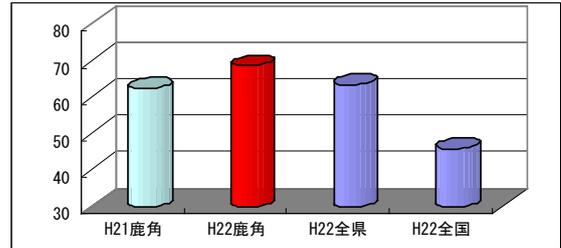
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【当てはまる+どちらかといえば当てはまる】



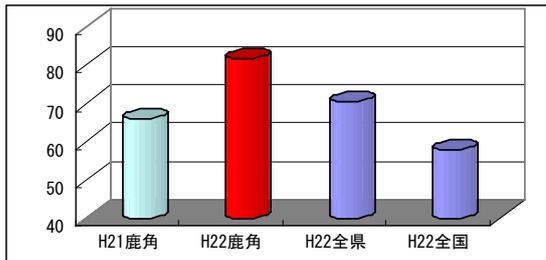
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いたり、話したりしていますか

【当てはまる+どちらかといえば当てはまる】



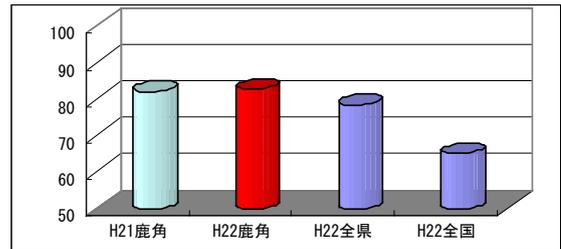
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか

【当てはまる+どちらかといえば当てはまる】



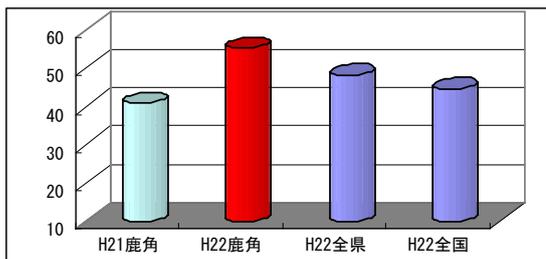
解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか

【最後まで書こうと努力した】



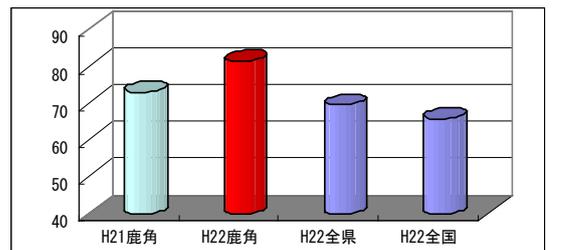
数学の勉強は大切だと思いますか

【当てはまる】



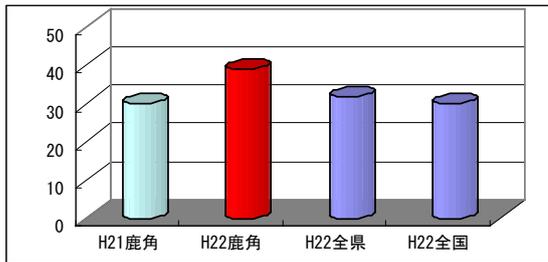
数学の授業の内容はよくわかりますか

【当てはまる+どちらかといえば当てはまる】



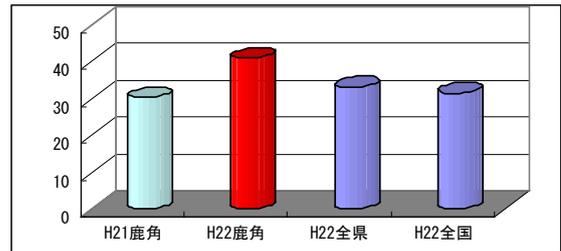
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずいろいろな方法を考えますか

【当てはまる】



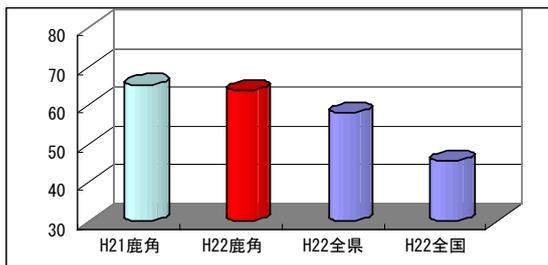
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

【当てはまる】



解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか

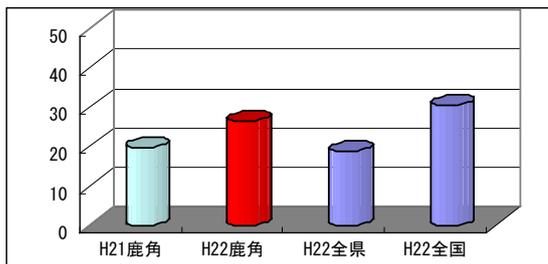
【最後まで書こうと努力した】



<課題となる事項>

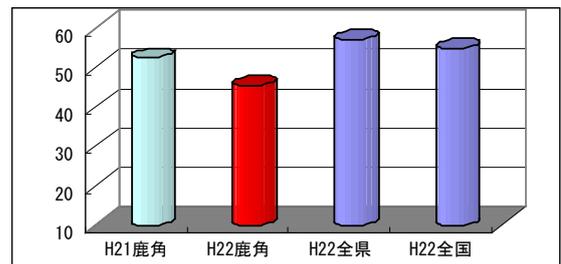
携帯電話で通話やメールをしていますか

【ほぼ毎日している】



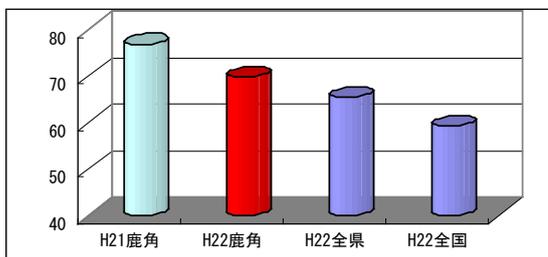
学校で好きな授業はありますか

【そう思う】



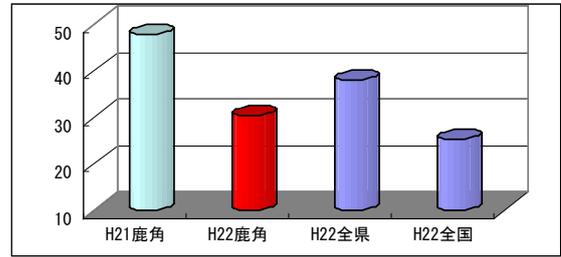
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか

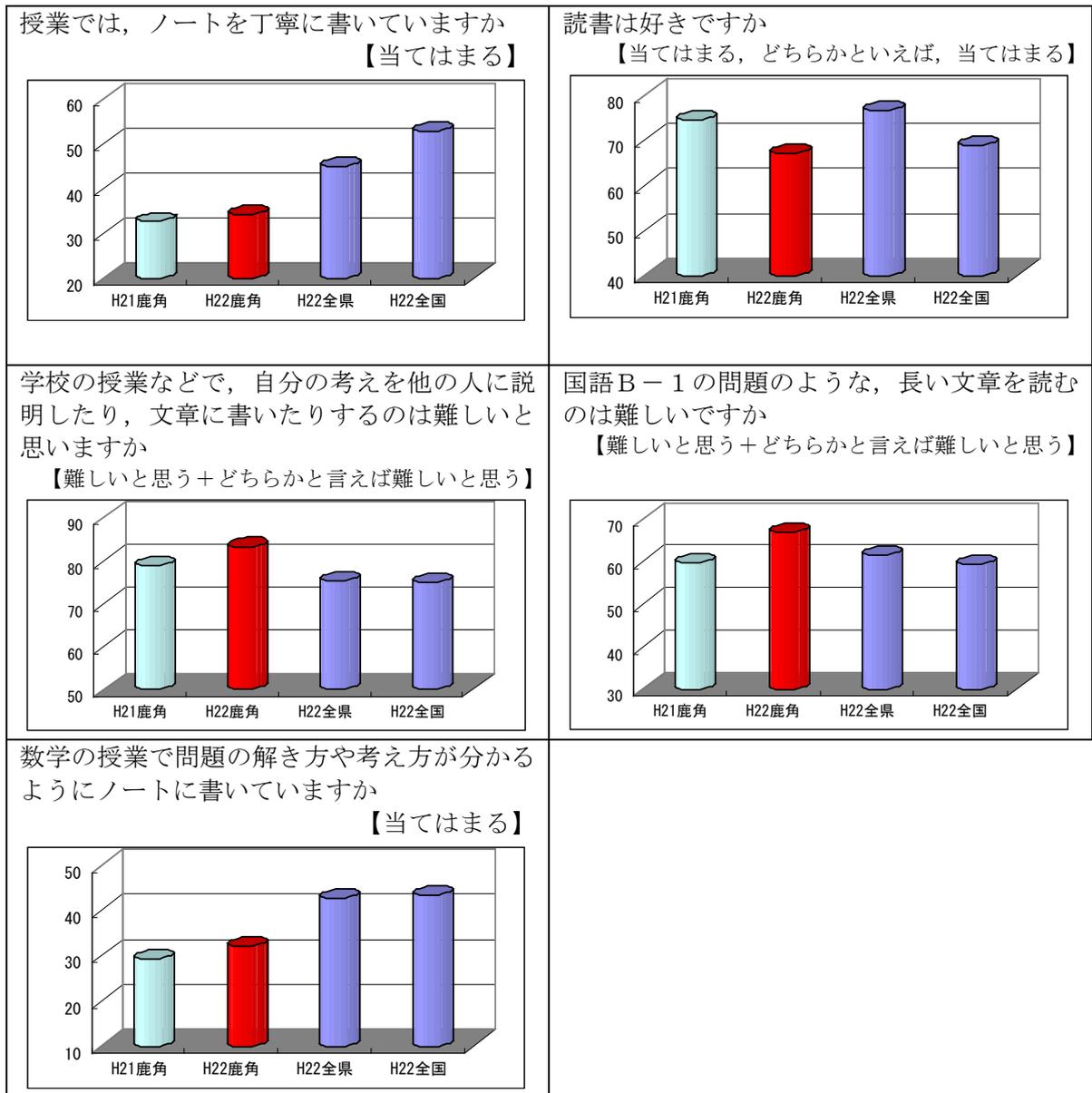
【ほとんど、または、全く行かない】



普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか

【当てはまる+どちらかといえば、当てはまる】





### 3. 調査の結果から

- (1) 小・中学校とも、「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」「将来の夢や希望をもっている」「普段(月～金曜日)の起床時間【小・6時30分前、中・7時前】」「家の人と普段(月～金曜日)夕食を一緒に食べている」「今住んでいる地域の行事に参加している」「家で宿題をしている」「人の気持ちがわかる人間になりたい」「国語の勉強は大切だ」「国語の授業で目的に応じて資料を読み、考えを話したり書いたりしている」「国語の授業で意見を発表するとき、話の組み立てを工夫している」「解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力する」「算数・数学は好きだ」「算数・数学の内容はよくわかる」「算数・数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考える」「解答を言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力する」の16項目については、全国平均はもとより、全県平均を上回っており、望ましい傾向である。
- (2) 小学校で「毎日同じくらいの時刻に起きている」の項目で「している」が秋田県・全国平均よりも下回っている。また、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「家で、テストで間違えたところを後で直している」の2項目については、「している」が秋田県平均よりも10%以上下回っており、児童の家庭学習があまり主体的なものでないことが分かる。今後も児童が主体的に学ぶことができるよう、指導方法を工夫し、家庭との連携を図りながら、良好な学習習慣の形成と学習意欲の向上に努めていきたい。

- (3) 中学校において、「自分の考えを説明したり、文章に書いたりするのは難しい」「国語B—1のような、長い文章を読むのは難しい」が秋田県・全国平均を上回るとともに、昨年度の本市の平均をも上回った。「読書は好きか」では「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が秋田県・全国平均を下回っており、長い文章を読んだり書いたりすることに対する苦手意識があるように思われる。これからも国語科の授業を中心に、目的をもって読み、「読んで、考えて、書く授業」を推進していきたい。

また「授業のノートの書き方や活用」についても、意図的な取り組みを行い、望ましい学習習慣の形成に努めていきたい。

- (4) 小学校において、「家や図書館での1日あたりの読書量」の「全くしない」が秋田県、全国を上回り、中学校において「読書は好きか」の「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」が秋田県、全国を下回っている。また、小・中学校において「昼休み、放課後、休日の図書館・図書室の利用状況」について「全く行かない」が秋田県、全国を上回っている。

今後、児童・生徒が読書に親しむよう、図書館経営や読書指導についての優れた実践例を紹介するなど、学校図書の実質を図っていきたい。